

再評価結果（平成16年度事業継続）

担当課：国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道331号 中山改良 <small>なかもまがりよう</small>	事業区分	一般国道	事業主体	沖縄総合事務局
起終点	自：沖縄県玉城村志堅原 至：沖縄県玉城村中山 <small>たまぐすくそんしけんげん</small> <small>たまぐすくそんなかやま</small>	延長	2.1km		
事業概要 一般国道331号は、沖縄本島島尻地域を連結し県都那覇へ至る延長約50kmの主要幹線道路である。 中山改良事業は、一般国道331号の線形改良を行い、産業・観光の発展及び交通安全の確保を目的とする延長2.1kmの事業である。					
H 2年度事業化		都市計画決定不要		H 6年度用地着手	
H 12年度工事着手		H 6年度用地着手		H 12年度工事着手	
全体事業費		約85億円		事業進捗率 32%	
計画交通量		5,800台/日		供用済延長 0km	
費用対効果 分析結果	B / C	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)	
	(事業全体) 1.0 (残事業) 2.8	35/99億円 (事業費：26/89億円 維持管理費：9/9億円)		100/100億円 (走行時間短縮便益：93/93億円 走行費用減少便益：5/5億円 交通事故減少便益：2/2億円)	
事業の効果等 個性ある地域の形成（主要な観光へのアクセス向上が期待される） 線形不良箇所の解消及び交通事故の抑制 他4項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 平成14年に当該計画路線のある玉城村から事業促進の要望が出され、また、平成5年度以降、南部振興会・道路整備促進期成会から早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 当該事業箇所の西方に位置する斎場御嶽が、平成12年に世界遺産に登録され、また、東方に位置する平和祈念公園の整備などが進められこれらの施設への主要なアクセス道路として重要性を増している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収の進捗が81%であり、今後工事及び用地買収の促進を図る。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収が難航し、工事着手までに長期間を要した。 今後、用地買収及び地元協議を進め工事の進捗を図る。					
施設の構造や工法の変更等 橋梁設計における新技術等採用によりコスト縮減を図っている。 また、幅員構成の見直しによるコスト縮減を検討中。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図					
中山改良 2.1 km					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。